

国産丸太の安定供給・林業産業化に向けて

～施業面積の拡大化を図るひとつの試み～

一般社団法人 N-WOOD 国産木材流通機構 代表理事 三鍋伊佐雄 氏

2021 年に発生したウッドショックは主に輸入材の調達難に起因するものであり、木材自給率向上の重要性を改めて痛感する出来事でした。近年、日本の木材自給率は製材工場の規模拡大と合板工場の国産材への原料シフトの進展によって上昇を続けてきましたが、それを支えてきたのは川上からの丸太の安定供給でした。日本の木材自給率を今後さらに高めていくためには丸太の安定供給体制の拡充が不可欠です。



日本の森林所有形態は小規模分散の割合が高いことから、丸太供給量の更なる増加のためには、林地の集約化や相続など多くの課題を解決する必要があります。こうした丸太供給サイドの状況について理解を深めることは、木材産業界にとって持続可能な原料調達システムを構築する上で重要と考えられます。

そこで、2023 年頭の月例研究会では、一般社団法人 N-WOOD 国産木材流通機構代表理事の三鍋伊佐雄氏を講師にお招きし、N-WOOD の取組やその中から見えてきた川上問題の解決策について、実践的な立場からご報告いただく予定です。三鍋氏は 2013 年まで大東建託株式会社の代表取締役社長を務められ、リーマンショック時においても継続した業績進展に寄与されるとともに、賃貸住宅分野においてはスギ 2×4 材の利用拡大にも貢献されました。退任後は企業経営アドバイスや経営者育成をテーマとする個人事務所を開設され、複数の上場会社の社外取締役などを兼務されるとともに、2016 年に（一社）N-WOOD を創設され、代表理事として「森林信託制度をはじめとする諸施策」で川上が抱える様々な問題に実践的な取り組みをしておられます。川上問題を解決するための川下の役割についてもお話しいただけると期待しています。多くの皆さまの参加をお待ちしております。

□日 時： 2023 年 1 月 26 日（木）17：30～19：00（17：00 より配信開始）

□会 場： ZOOM を利用したオンライン会議形式

□主 催： 木材利用システム研究会

□参加費： 会員：無料、非会員：3,000 円

□申込期限： 2023 年 1 月 23 日（月）

□申込方法： 研究会 HP（<https://www.woodforum.jp/>）よりお申込み下さい。

※ZOOM への登録方法については、お申込みいただいた方に、

研究会前日の午前中にお知らせする予定です。

木材利用システム研究会事務局：（幡、長坂、知念）
〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1、7 号館 B 棟 438 室
東京大学環境材料設計学研究室内
電話：03-5841-7506 FAX：03-5841-0915
メール：info@woodforum.io